

エコアクション21

環境経営レポート

(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

2026 年 6 月 30 日発行

HIREC 株式会社

目次

1. 組織の概要	P.2
2. 対象範囲	P.2
3. 環境経営方針	P.3
4. 実施体制(役割・責任・権限を含む)	P.4
5. 環境経営目標	P.5
6. 環境経営計画	P.6
7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容とその評価 (2025 年度実績)	P.9
8. 次年度の環境経営計画(2026 年度)	P.10
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無	P.11
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P.12

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

HIREC 株式会社

代表者氏名 代表取締役社長 上森 規光

(2) 所在地

1. 事業所名 本社

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町 66 番地 2
興和川崎西口ビル 10F

2. 事業所名 つくば事業所

〒305-0033 茨城県つくば市東新井 3-6
第 5 芳村ビル

(3) 環境管理の責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理の責任者 経営企画部長 細田 理聡

担当者 経営企画部 主任 前田 晋宏

連絡先

電話 044-201-1512

FAX 044-201-1531

e-mail maeda@hirec.co.jp

(4) 事業の概要

宇宙用電気・電子・電気機構部品等の設計・開発、製造、サービス提供（試験など）および宇宙機システム等に対する品質保証、運用、マネジメント等のサービス提供を業務としている。

(5) 事業規模

売上高: 16 億円 (2025 年 4 月～2026 年 3 月)

	本 社	つくば事業所	
社員数(人)	63 人	20 人	※2025 年度末時点
延床面積(m2)	450.8m2	568.6m2	

2. 対象範囲

(1) 認証・登録対象組織

本社、つくば事業所

(2) 認証・登録対象活動

宇宙機プロジェクトにおける設計・製造・試験・射場、運用作業における支援業務

3. 環境経営方針

「基本理念」

HIREC 株式会社は事業活動の環境負荷を認識し、地域の豊かな自然を次世代に伝えます。
そのために従業員一同は環境問題の基礎的知識を高め、循環型社会の構築と地球温暖化防止の活動に継続的に取り組めます。

「行動指針」

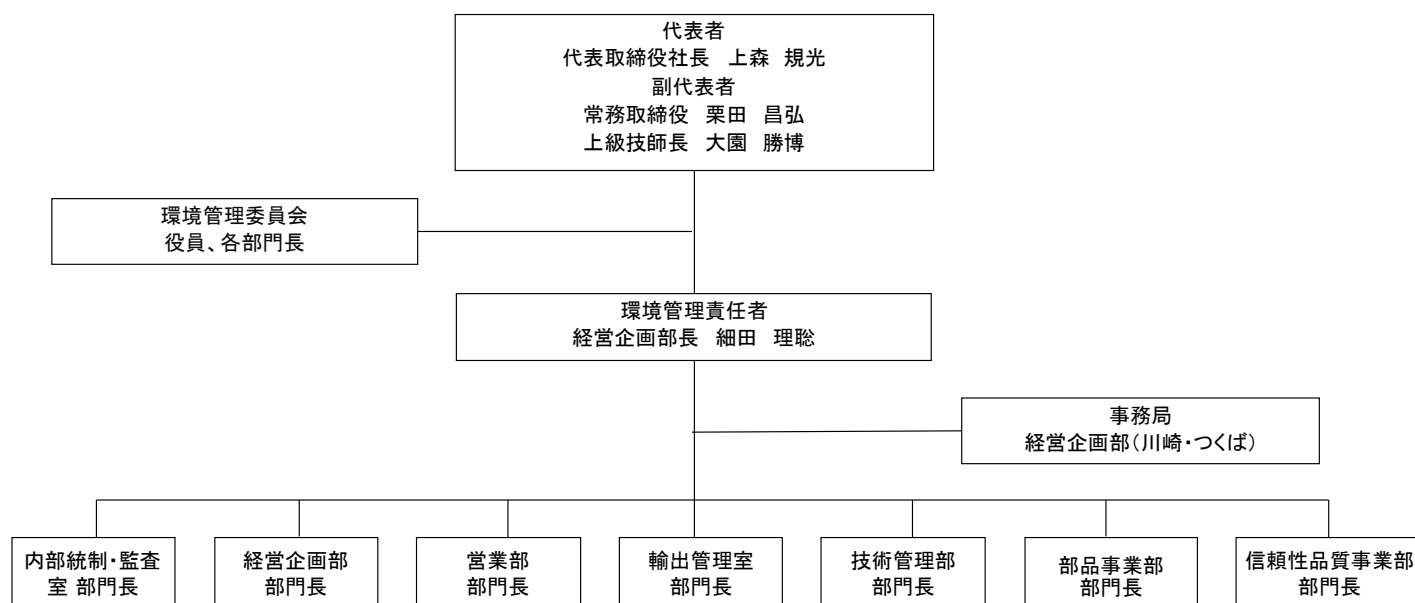
1. 電力使用量の削減、車両用燃料使用量の削減により二酸化炭素排出量を低減します。
2. 廃棄物の分別、リサイクルを積極的に実施し、廃棄物の削減に取り組めます。
3. 節水に努め、水使用量を削減します。
4. 本取組を行い、提供する製品やサービスでお客様の環境配慮を推進します。
5. 環境に関する法規等を遵守します。
6. 環境経営の活動は、継続的改善を実施します。
7. 全社員に環境教育を行い、環境保全の意識を向上させます。

2025 年 4 月 1 日

HIREC 株式会社

代表取締役社長 上森 規光

4. 実施体制(役割・責任・権限を含む)



	役割・責任・権限
代表者 副代表者	1. 環境管理責任者の任命、実施体制の構築 2. 環境方針の制定 3. エコアクション21を運用し、維持するための経営資源の用意 4. 環境経営システムの定期的見直しの実施 5. 社内情報の外部公開可否決定
環境管理責任者	1. 環境経営システムの確立、実施、維持、継続的改善 2. 社長への環境経営システムの実施状況報告 3. 推進機関である事務局の責任者として事務局運営 4. それぞれの業務・役割に応じ、必要な教育訓練の適切な計画・実施 5. 関連法規の取りまとめ表の維持管理、遵守徹底 6. 環境関連文書及び記録の作成・整理
環境管理委員会	1. 組織内の推進組織 2. 経営改善と環境への取組の一体的運用推進 3. (環境管理責任者と事務局のラインの中に入るのではなく)側面的な助言の実施 4. 全社的な組織として、全社的なコンセンサスのとりまとめ (事務的な作業については、事務局の助けを借りることが出来る)
事務局	1. 環境管理責任者の補佐、環境管理委員会の事務局 2. 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 3. 環境目標、環境活動計画書原案の作成 4. 環境活動の実績収集・集計、環境関連法規等取りまとめ表の作成 5. 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 6. 環境関連の外部コミュニケーションの窓口、環境活動レポートの作成 7. 従業員に対する教育訓練の企画
部門責任者 (部門長)	1. 自部門における環境経営システムの実施、環境方針の周知、従業員に対する教育訓練の推進 2. 自部門に関連する環境活動計画の実施推進 3. 自部門に特定された項目の手順書作成及び運用管理 4. 自部門に特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練の実施、記録の作成 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
従業員	1. 環境方針の理解と環境活動計画に従った活動

5. 環境経営目標

環境経営目標として、基準年に対し 2025～2027 年度は年度目標を一律「基準年-2%」と設定しており(1.①～③、及び 2.①)、2025 年度の実績は下表の通りでした(評価は 7 項参照)。

環境経営目標	2024年度 (基準年)	2025年度		2026年度	2027年度
	通年 (2024年4月～ 2025年3月)	年度目標	実績	年度目標	年度目標
		通年・目標 基準年比 -2% (2025年4月～ 2026年3月)	通年・実績 (2025年4月～ 2026年3月)	通年・目標 基準年比 -2% (2026年4月～ 2027年3月)	通年・目標 基準年比 -2% (2027年4月～ 2028年3月)
1. 二酸化炭素排出量の削減	(排出量) 総量 207,762 kg-CO ₂	(排出量) 2%削減 203,607 kg-CO ₂	(排出量) 実績 186,380 kg-CO ₂	(排出量) 2%削減 203,607 kg-CO ₂	(排出量) 2%削減 203,607 kg-CO ₂
①電力使用量(つくば)の削減 (二酸化炭素排出係数: 0.421kg-CO ₂ /kWh ⇒FY2025実績用の係数は0.411)	(電気量) 453,917 kWh (191,099 kg-CO ₂)	(電気量) 2%削減 目標:444,839 kWh (187,277 kg-CO ₂)	(電気量) 実績 409,713 kWh (168,392 kg-CO ₂)	(電気量) 2%削減 目標:444,839 kWh (187,277 kg-CO ₂)	(電気量) 2%削減 目標:444,839 kWh (187,277 kg-CO ₂)
②電力使用量(本社)の削減 (二酸化炭素排出係数: 0.431kg-CO ₂ /kWh ⇒FY2025実績用の係数は0.452)	(電気量) 36,490 kWh (15,727 kg-CO ₂)	(電気量) 2%削減 目標:35,760 kWh (15,412 kg-CO ₂)	(電気量) 実績 38,752 kWh (17,516 kg-CO ₂)	(電気量) 2%削減 目標:35,760 kWh (15,412 kg-CO ₂)	(電気量) 2%削減 目標:35,760 kWh (15,412 kg-CO ₂)
③自動車燃料(ガソリン)使用量の削減 注1) (二酸化炭素排出係数: 2.32kg-CO ₂ /L)	(ガソリン使用量) 403.3 L (935.6 kg-CO ₂)	(ガソリン使用量) 2%削減 目標395.2 L (916.9 kg-CO ₂)	(ガソリン使用量) 実績 203.7 L (472.6 kg-CO ₂)	(ガソリン使用量) 2%削減 目標395.2 L (916.9 kg-CO ₂)	(ガソリン使用量) 2%削減 目標395.2 L (916.9 kg-CO ₂)
2. 一般廃棄物排出量の削減 ①本社	(一廃排出量) 984 kg	(一廃排出量) 2%削減 964 kg	(一廃排出量) 実績 1,075 kg	(一廃排出量) 2%削減 964 kg	(一廃排出量) 2%削減 964 kg
②つくば (項目を追加)	(一廃排出量) - 未測定	(一廃排出量) - 未設定	(一廃排出量) 9月から計測/7ヶ月 389 kg(実績) ※12ヶ月換算で 概算667kg(仮)	(一廃排出量) 2%削減 667×0.98 654kg	(一廃排出量) 654kg
3. 水使用量の維持管理 注2)	(水使用量) 259 m3	(水使用量) 259 m3 維持管理:データ収集のみ	(水使用量) 実績 344 m3 維持管理:データ収集のみ	(水使用量) 259 m3 維持管理:データ収集のみ	(水使用量) 259 m3 維持管理:データ収集のみ
4. サービスの改善(トータル顧客満足度数値で評価) ★HIRECで設定した指標 注4)	(顧客満足度) 4.42	(顧客満足度) 4.42ポイント 以上	(顧客満足度) 実績 4.34ポイント	(顧客満足度) 4.42ポイント 以上	(顧客満足度) 4.42ポイント 以上

注1): 自動車燃料(ガソリン)は、社有車があるつくばのみを対象とする。

注2): 水使用量は、つくばのみ実施する。(本社はテナント入居のため、他社と共用でありそのデータが収集できないため)

注3): 化学物質は取り扱っていないため管理対象外とする。

注4): 顧客満足度はお客様に対し8項目の設問でアンケートを行い、各項目1～5点で評価頂いて算出している。

※8項目:(1)ニーズ把握と理解力、(2)提案力、(3)スキル、(4)積極性と熱意、(5)対応スピード、(6)成果物の質、(7)コストパフォーマンス、(8)納期

6. 環境経営計画

年度目標を月次に分け、四半期毎に累計目標値と比較する環境経営計画に対し、最終的な 2025 年度実績値をプロットした結果が下表となります。

1.②(本社電力)と 2.(本社廃棄物)が 2024 年度を基準値として比較した結果、目標削減値未達となりました。

NO.	項目	年度目標 (2025年度)	達成手段	責任者	2025年												2026年		
					運用期間														
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1	二酸化炭素排出量の削減	2%削減(→98%) 207,762 kg-CO2 (207.8 t-CO2) ↓ 203,607 kg-CO2 (203.6 t-CO2)	・電力、化石燃料使用量の削減	事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・作業効率の向上																
			計画排出量(t-CO2)		12.6	12.3	18.1	19.9	22.4	21.6	14.9	14.4	17.0	13.4	19.6	17.4			
			同 累計(t-CO2)		12.6	24.9	43.0	62.9	85.3	106.9	121.8	136.2	153.3	166.6	186.2	203.6			
			実績排出量(t-CO2)		12.5	9.4	16.9	17.2	14.6	17.2	16.2	15.2	16.4	13.6	19.1	18.0			
①	電力使用量(つくば)の削減 (二酸化炭素排出係数: 0.421kg-CO2/kWh) ↓ FY2025実績用の係数は 0.411	2%削減(→98%) 453,917 kWh (453.9 MWh) ↓ 444,839 kWh (444.8 MWh)	・装置の不使用时電源OFF	事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・エアコン温度設定最適化※																
			装置稼働の効率化																
			計画電力使用量(MWh)		26.7	26.1	39.6	44.3	49.9	47.8	32.4	30.6	37.9	28.0	43.0	38.6			
			同 累計(MWh)		26.7	52.8	92.3	136.6	186.5	234.3	266.7	297.4	335.3	363.3	406.3	444.8			
②	電力使用量(本社)の削減 (二酸化炭素排出係数: 0.431kg-CO2/kWh) ↓ FY2025実績用の係数は 0.452	2%削減(→98%) 36,490 kWh (36.5 MWh) ↓ 35,760 kWh (35.8 MWh)	・装置の不使用时電源OFF	事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・エコドライブの徹底(ラベル貼る) (急ブレーキ急発進急加速しない等)																
			計画ガソリン使用量(L)		0.0	35.1	23.5	28.5	28.6	33.5	19.3	64.4	57.5	49.1	41.5	14.2			
			同 累計(L)		0.0	35.1	58.6	87.1	115.8	149.2	168.5	233.0	290.5	339.6	381.1	395.2			
			実績ガソリン使用量(L)		22.3	0.0	0.0	25.6	0.0	14.2	21.8	48.8	23.5	0.0	0.0	47.4			
2	廃棄物排出量の削減 (一廃排出量) 本社	2%削減(→98%) 984 kg ↓ 964 kg	・一般廃棄物の分別徹底	事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			・コピー紙、雑紙のリサイクル																
			・デジタル化による紙の低減																
			計画排出量(kg)		95.1	62.8	73.9	77.2	74.9	93.5	101.0	53.1	80.7	71.6	78.2	102.0			
			同 累計(kg)		95.1	157.9	231.8	308.9	383.9	477.4	578.4	631.5	712.2	783.8	862.0	964.0			
3	水使用量の削減 維持管理のみ 259 m3		・節水の励行	事務局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
			計画水道使用量(m3)		26.0	43.0	16.0	18.0	14.0	18.0	16.0	23.0	20.0	22.0	24.0	19.0			
			同 累計(m3)		26.0	69.0	85.0	103.0	117.0	135.0	151.0	174.0	194.0	216.0	240.0	259.0			
			実績水道使用量(m3)		17.0	14.0	18.0	17.0	16.0	16.0	21.0	33.0	69.0	61.0	33.0	29.0			
			同 累計(m3)				49.0			98.0			221.0			344.0			
4	サービスの改善 (トータル顧客満足度向上) 自らが提供する製品の 環境性能の向上及び 及びサービスの改善	4.42ポイント ↓ 4.42ポイント以上	・顧客満足度向上活動 (評価項目) お客様のニーズ把握・理解・提案 担当チームのスキル・積極性・熟意 成果物の質・コストパフォーマンス 対応スピード・納期 など	事務局	(データ収集のみ)			(データ収集のみ)			(データ収集のみ)			(データ収集のみ)					
					—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	■			
					(通年で評価)			(通年で評価)			(通年で評価)			4.34 ポイント					
					—			—			—			未達					
					—			—			—			未達					

[補足]
・電力使用量(本社)について

【2025年度-2024年度本社電力使用量比較資料】

< 本社電力使用量 >

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	通期計
2024年度	実績	3.19	3.02	3.30	2.85	3.16	3.24	2.76	3.31	2.24	3.44	3.21	2.79	36.49
	休日稼働日数	2	5	3	7	6	5	4	1	5	6	8	8	60
2025年度	実績	3.04	3.10	3.25	3.07	3.56	3.40	3.47	3.42	2.59	3.56	3.27	3.04	38.75
	休日稼働日数	6	11	8	6	7	8	11	6	7	6	7	8	91
2025年度-2024年度	実績差異	-0.16	0.08	-0.05	0.22	0.40	0.17	0.71	0.11	0.34	0.13	0.06	0.25	2.26
	休日稼働日数差異	4	6	5	-1	1	3	7	5	2	0	-1	0	31

：2024年度より大きく増えている

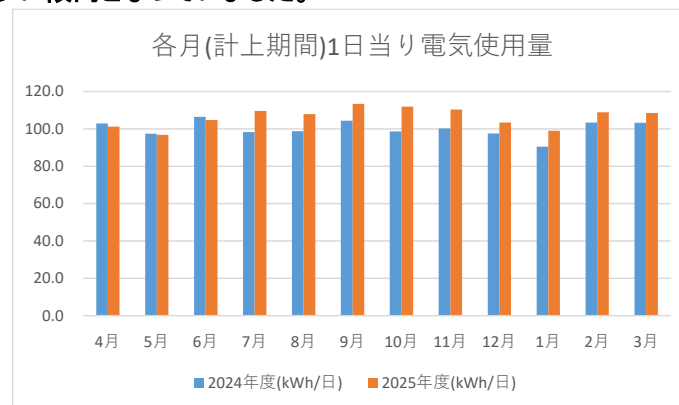
：ピンク色ほどではないが、2024年度より増えている

2025 年度の使用量(通期計)は 2024 年度の使用量に対し増加しています。休日稼働日数も増えてはいますが、それだけが電気使用量を増加させたとも言えない傾向となっていました。

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電気量 kWh	3190	3020	3298	2848	3158	3235	2762	3307	2242	3436	3205	2789	36,490
計上期間内日数	31	31	31	29	32	31	28	33	23	38	31	27	365
1日当り電気使用量	102.9	97.4	106.4	98.2	98.7	104.4	98.6	100.2	97.5	90.4	103.4	103.3	100.0

2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電気量 kWh	3035	3099	3245	3070	3560	3402	3471	3419	2585	3563	3265	3038	38,752
計上期間内日数	30	32	31	28	33	30	31	31	25	36	30	28	365
1日当り電気使用量	101.2	96.8	104.7	109.6	107.9	113.4	112.0	110.3	103.4	99.0	108.8	108.5	106.2

続いて計上日数 1 日当りの平均電気使用量で比較したところ、下記グラフの通り、7 月以降は 2025 年度の方が多い傾向となっていました。



なお、技術管理部に 2025 年度の IT 機器増設有無を確認頂いたところ、全社としては削減傾向にあったとの回答を得ています。

執務用端末: Win11 化に伴い、用途別(執務・在宅・出張用)に複数台あった端末を 1 台に集約。

サーバー: 新規導入はなく増減なし。

複合機: 本社は増減なし(つくばは 2024 年度に 1 台減)。

ネットワーク: 全社的に再構築したが機器の増加はほぼなく、電気使用量に影響は見当らない。

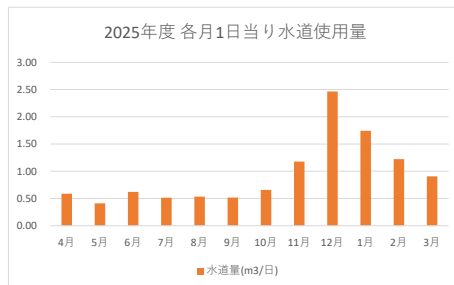
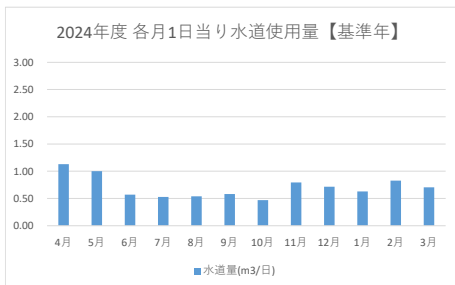
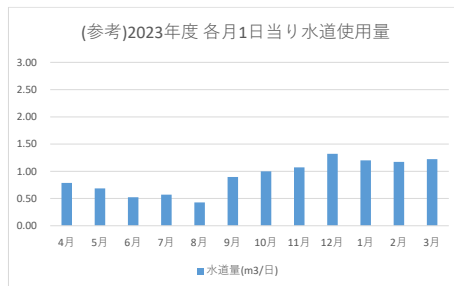
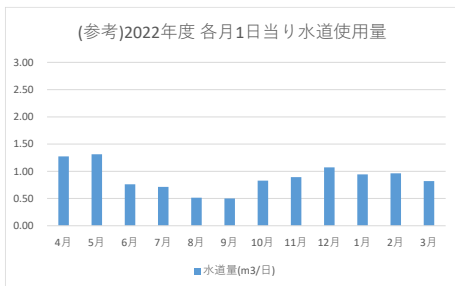
[補足]
・3 水使用量(つくば)について

(参考) 2022年度	2022年												2023年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
水道量 m3	42	46	16	25	18	14	29	25	30	33	27	23	328
計上期間 開始日	3/24	4/26	5/31	6/21	7/26	8/30	9/27	11/1	11/29	12/27	1/31	2/28	
計上期間 最終日	4/25	5/30	6/20	7/25	8/29	9/26	10/31	11/28	12/26	1/30	2/27	3/27	
計上期間内日数	33	35	21	35	35	28	35	28	28	35	28	28	369
1日当り水道使用量	1.27	1.31	0.76	0.71	0.51	0.50	0.83	0.89	1.07	0.94	0.96	0.82	0.89

(参考) 2023年度	2023年												2024年 (閏年)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
水道量 m3	22	24	11	20	15	26	34	30	37	42	34	33	328
計上期間 開始日	3/28	4/25	5/30	6/20	7/25	8/29	9/27	10/31	11/28	12/26	1/30	2/28	
計上期間 最終日	4/24	5/29	6/19	7/24	8/28	9/26	10/30	11/27	12/25	1/29	2/27	3/25	
計上期間内日数	28	35	21	35	35	29	34	28	28	35	29	27	364
1日当り水道使用量	0.79	0.69	0.52	0.57	0.43	0.90	1.00	1.07	1.32	1.20	1.17	1.22	0.90

[基準年] 2024年度	2024年												2025年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
水道量 m3	26	43	16	18	14	18	16	23	20	22	24	19	259
計上期間 開始日	3/26	4/18	5/31	6/28	8/1	8/27	9/27	10/31	11/29	12/27	1/31	3/1	
計上期間 最終日	4/17	5/30	6/27	7/31	8/26	9/26	10/30	11/28	12/26	1/30	2/28	3/27	
計上期間内日数	23	43	28	34	26	31	34	29	28	35	29	27	367
1日当り水道使用量	1.13	1.00	0.57	0.53	0.54	0.58	0.47	0.79	0.71	0.63	0.83	0.70	0.71

【2025年度】	2025年												2026年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
水道量 m3	17	14	18	17	16	16	21	33	69	61	33	29	344
計上期間 開始日	3/28	4/26	5/30	6/28	7/31	8/30	9/30	11/1	11/29	12/27	1/31	2/27	
計上期間 最終日	4/25	5/29	6/27	7/30	8/29	9/29	10/31	11/28	12/26	1/30	2/26	3/30	
計上期間内日数	29	34	29	33	30	31	32	28	28	35	27	32	368
1日当り水道使用量	0.59	0.41	0.62	0.52	0.53	0.52	0.66	1.18	2.46	1.74	1.22	0.91	0.93



水使用量は請求書がないため(ビル共益費内)、各月の使用量は月末頃にメーターの数字を目視で読んだ記録となっています。

こちらで計上期間の日数が一定ではなくばらつくため、1日平均を出して比較しました。

左は 2022、2023、2024、2025 年度の計上期間 1日平均使用量となります。

基準年(2024)の前2年間まで同様の記録があり、それらも参考値として示しています。

基準年(2024)は前2年間と比べると年間の使用量が少なかったことが分かりました。

2025年度は12月～1月辺りに水漏れの影響と思われる使用量増加が見られます。

このようなイレギュラーが無かった場合、年間の水道使用量が2024年度並なのか、その前2年間並なのかは来年以降の年間計測結果による今後の確認となります。

7. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容とその評価(2025 年度実績)

NO.1①～③及び NO.2～4 の実績及び基準年比の増減、評価、達成/未達成の要因と、未達成項目における是正措置・予防措置については下表の通りです。

NO.	推進項目	通年目標	環境管理の責任者			
			担当者	結果確認	評価	達成/未達成の要因
1	二酸化炭素排出量の削減	※2024年度 (基準年)実績 207,762 kg-CO2 2%削減(98%) 目標値 203,607 kg-CO2	2025年度実績 186,380 kg-CO2 基準年比 <u>- 10.3 %</u>	○	①～③の要因による	—
①	電力使用量(つくば)の削減	※2024年度 (基準年)実績 453,917 kWh 2%削減(98%) 目標値 444,839 kWh	2025年度実績 409,713 kWh 基準年比 <u>- 9.7 %</u>	○	・業務量の変動により設備稼働時間を削減 ・設備稼働スケジュールリングにあたり、待機時間縮小へ取組	—
②	電力使用量(本社)の削減	※2024年度 (基準年)実績 36,490 kWh 2%削減(98%) 目標値 35,760 kWh	2025年度実績 38,752 kWh 基準年比 <u>+ 6.2 %</u>	未達	フロア稼働時間の増加	・定時退社推奨日(毎週水曜日・給料日・賞与支給日)の設定と推進 ・不要な照明や機器の電源OFF、昼休み時間のフロア消灯の取組
③	自動車燃料(ガソリン)使用量の削減	※2024年度 (基準年)実績 403.3 L 2%削減(98%) 目標値 395.2 L	2025年度実績 203.7 L 基準年比 <u>- 49.5 %</u>	○	・遠隔地での業務において移動手段として、極力、公共交通機関を活用 ・顧客へのコンタクトにあたり、Webミーティングを活用	—
2	一般廃棄物排出量の削減	※2024年度 (基準年)実績 984 kg 2%削減(98%) 目標値 964 kg	2025年度実績 1,075 kg 基準年比 <u>+ 9.2 %</u>	未達	・クラウド型ERP、財務会計システム導入・稼働により、紙資料を廃棄(50kg) ・製品・サービスリーフレットのアップデートにより、旧リーフレットを廃棄(50kg)	システム移行に伴う紙資料廃棄が一段落。継続して業務上でのペーパーレス化に取り組むとともに、重量比率の高いシュレッダーごみの低減を図る(例:カード認証/パスワード方式での印刷を推進し、印刷ミス低減によりシュレッダーごみを減らす取組)
3	水使用量の削減	※2024年度 (基準年)実績 259 m3 維持管理(削減目標は特に設定しない) —	2025年度実績 344 m3 基準年比(参考) <u>+ 32.8 %</u>	—	2025年12月のトイレ給水管トラブルによる水漏れの影響	・検針値に異常が見られた時は関係者へ速やかにアラームをあげる ・節水ステッカーを貼って節水意識の向上に努める
4	サービスの改善(トータル顧客満足度数値で評価)	前年度より改善 (通年で評価) 参考:前年度実績 4.42	2025年度実績 4.34 ポイント 基準年比(参考) <u>- 0.08 ポイント</u>	未達	主に「成果物」と「コストパフォーマンス」の項目で点数が下がった	課題となるテーマに対して改善に取り組む

8. 次年度の環境経営計画(2026 年度)

2026 年度の環境経営計画は下表の通りです。2025 年度未達成となった 1.②(本社電力)と 2.(本社廃棄物)の達成手段として追加策の案を加え、その他は 2025 年度と同じ内容です。

年度目標値は 2025 年度に続き、基準年(2024 年度)からの 2%削減です。

NO.	項目	基準年 2024年度実績	目標値 2024年度実績 から 2%減	2025年度 実績値	[未達の項目] 2025年度 実績比削減率	達成手段	責任者
1	二酸化炭素排出量の削減 ◆FY2025: 達成	207,762 kg-CO2	203,607 kg-CO2	186,380 kg-CO2	達成項目のため 引き続き目標値 (基準年-2%) を目指す	・電力、化石燃料使用量の削減 ・作業効率の向上	事務局
①	電力使用量(つくば)の削減 ◆FY2025: 達成	453,917 kWh	444,839 kWh	409,713 kWh	達成項目のため 引き続き目標値 (基準年-2%) を目指す	・装置の不使用时電源OFF ・エアコン温度設定最適化※ ※夏は28℃、冬は20℃(環境省推奨) ・装置稼働の効率化	事務局
②	電力使用量(本社)の削減 ◆FY2025: 未達成	36,490 kWh	35,760 kWh	38,752 kWh	要 7.7 % 減	・不使用場所の消灯 ・装置の不使用时電源OFF 【FY2026追加策】 ・定時退社推奨日の設定と推進 (毎週水曜日・給料日・賞与支給日) ・不要な照明や機器の電源OFF、 昼休み時間のフロア消灯の取組	事務局
③	自動車燃料(ガソリン) 使用量の削減 ◆FY2025: 達成	403.3 L	395.2 L	203.7 L	達成項目のため 引き続き目標値 (基準年-2%) を目指す	・エコドライブの徹底(ラベル貼る) (急ブレーキ急発進急加速しない等)	事務局
2	廃棄物排出量の削減						
①	本社 ◆FY2025: 未達成	984 kg	964 kg	1,075 kg	要 10.3 % 減	・一般廃棄物の分別徹底 ・コピー紙、雑紙のリサイクル ・デジタル化による紙の低減 【FY2026追加策】 ・カード認証/パスワード方式での印刷推進 (印刷ミスを減らし、シュレッダーごみを低減)	事務局
②	つくば (2025年9月～計測) ◆FY2025: 未評価	なし	なし	9月以降の 実績のみ	(通年での実績を 計測してから 目標値を正式に 設定予定のため 対象外)	・一般廃棄物の分別徹底 ・コピー紙、雑紙のリサイクル ・デジタル化による紙の低減	事務局
3	水使用量の削減 ◆(FY2025: 参考値)	259 m3	削減目標は 設定しない	344 m3	(削減目標は 設定しないため 対象外)	・節水の励行	事務局
4	サービスの改善 (トータル顧客満足度向上) 自らが提供する製品の 環境性能の向上及び 及びサービスの改善 ◆FY2025: 未達成	4.42 ポイント	4.42 ポイント	4.34 ポイント	要 0.08 ポイント 増	・顧客満足度向上活動 (評価項目) お客様のニーズ把握・理解・提案 担当チームのスキル・積極性・熱意 成果物の質・コストパフォーマンス 対応スピード・納期 など ・課題となった評価項目の改善	事務局

9. 環境関連法規などの順守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

当社に適用される主な環境関連法規は次の通りです。

	環境関連法規など	適用される対象(設備等)
1	水質汚濁防止法	ドラフトチャンバー
2	下水道法	ドラフトチャンバー
3	土壤汚染対策法	ドラフトチャンバー
4	廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(発生時)
5	家電リサイクル法	冷蔵庫、エアコン(家庭用)
6	消防法	本社、つくば事業所

ドラフトチャンバーを 2026 年 1 月 29 日に廃止(廃棄)しました。

それに伴い、下水道法と水質汚濁防止法に基づいて、つくば市に「特定施設使用廃止届」を提出し、2026 年 2 月 4 日付で廃止が受理されました。よって次年度以降は、

1: 水質汚濁防止法

2: 下水道法

については対象設備が無くなり、当社に適用される環境関連法規の対象外となります。ただし

3: 土壤汚染対策法

については、つくば市からの 2019 年 2 月 12 日付確認書によって、土壤汚染対策法第 3 条 1 項但し書きの確認がなされ、同法による調査が猶予されている状態が継続しています。猶予中ですが適用されていることは変わらないため、今後も当社の関連法規として管理します。

また、

4: 廃棄物処理法

に基づき、2025 年度のマニフェスト発行状況(産業廃棄物管理票交付等状況報告書)を茨城県に提出し、2026 年 6 月 19 日付で受理されました(毎年 6 月末締切)。

次に、

6: 消防法

については、年 2 回の消防設備点検を下記日程で実施済みです。

本社: 2025 年 9 月 17 日、2026 年 3 月 3 日

つくば事業所: 2025 年 8 月 8 日、2026 年 2 月 12 日

なお、

5: 家電リサイクル法

については、対象となる製品の廃棄が 2025 年度内にはありませんでした(該当なし)。

以上、本期間における環境関連法規等への違反はありません。なお、関係当局より違反等の指摘も受けておりません。

10. 代表者による全体評価と見直し・指示

(1) 全体評価

2025年度は、エコアクション 21 認証取得初年度として、環境経営方針に基づき環境経営システムの運用を開始し、計画に沿った取り組みを着実に実施することができた。

特に、電力使用量の削減、廃棄物の分別・削減、節水活動等の基本的な環境負荷低減活動については、全社的に意識の向上が見られ、一定の成果を確認した。

また、法規制に関する遵守状況についても問題はなく、環境リスクの管理が適切に行われていることを確認した。

一方で、活動の定量的な結果を見ると、さらなる改善余地も認められる。

以上より、当社の環境経営は概ね適切に機能していると評価するが、今後は継続的改善をより一層推進し、環境負荷低減の実効性を高めていく必要がある。

(2) 見直し・指示

(2-1) 環境経営方針

現行の環境経営方針は、当社の事業内容および環境影響を適切に反映しており、引き続き有効であると判断する。

したがって、基本理念および行動指針については現時点での変更は行わず、継続して全社員への周知徹底と理解促進を図ることとする。

今後は、社会的要請や事業環境の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを検討すること。

(2-2) 環境経営目標、環境経営計画

環境経営目標と環境経営計画は、通年評価で未達項目が3件あった(電力使用量(本社)、一般廃棄物排出量(本社)、顧客満足度)。引き続き活動を継続していく中で、数値をモニターしながら適切な対策を取り対処していくこと。

(2-3) 実施体制

現在の環境経営の実施体制は、役割および責任が明確であり、運用上も大きな問題は認められない。したがって、現行の体制を維持することとする。

ただし、今後の活動の高度化に対応するため、以下の点について強化を図ること。

- ・各部門における環境活動の主体性向上

- ・社員教育・啓発活動の充実

これにより、組織全体で環境経営を推進する体制のさらなる強化を図ること。

以上